

公務員

澤井 悠樹

好きな「まち」
佐野市

栃木県 安足土木事務所

卒論テーマ 砂防堰堤の施設更新の優先順位に関する研究(後藤研究室)

出身高校

群馬県立太田東高等学校

まち科8期生に
聞きました。

1 どんなお仕事をしていますか？

1

私は栃木県安足土木事務所整備第二課に所属し、3年目を迎えています。主に道路・河川・砂防などのインフラ整備に関わり、設計から工事まで一貫して担当しています。

近年は豪雨災害の増加により、道路冠水や河川氾濫への対策が重要となっており、調整池の整備や河川の強靱化を進めています。

現在は調整池整備工事を主に担当し、工事の発注や監督業務に日々取り組んでいます。

2 お仕事での目標はなんですか？

2

私の目標は、栃木県の活性化に貢献できる職員になることです。

栃木県では、激甚化・頻発化する自然災害への対応に加え、人口減少や高齢化による地域活力の低下など、さまざまな課題を抱えています。こうした課題に対応するためには、県だけでなく市町村や関係機関と連携しながら、10年後、20年後を見据えたまちづくりやインフラ整備を進めることが重要だと考えています。

現在は防災・減災を目的とした事業に携わっていますが、今後はその経験を生かし、中心市街地の活性化や地域のにぎわい創出につながる事業にも携わりたいと考えています。



建設中の調整地

4 後輩に就活へのアドバイスを！

3

大学時代は一つのことに限定せず、さまざまなことに挑戦していました。アルバイトや社会人サークルへの参加、海外旅行、資格の勉強などを通じて、多くの経験を積むことができました。特にアルバイトでは、お客様への対応や職場での人間関係を通じて、対人スキルを養うことができたと感じています。また、海外旅行では異なる文化や価値

観、まちなみの違いなどを肌で感じることができました。

社会人となった今でも、こうした経験はさまざまな場面で活かされていると実感しています。



韓国旅行で訪れたDMZモニュメントのある観光地

4

就職活動では、志望する企業や自治体をできるだけ早く決めることが重要だと思います。やりたい仕事や明確になっていない人は、企業の知名度や業界への興味をきっかけに進路を考えるのも一つの方法です。

志望先が決まったら、過去の試験内容や選考方法を調べてみてください。試験内容を知ることで、自分にどのような知識や経験が不足しているのかを把握できると思います。その際には、自分が面接官になったつもりで自分自身に質問すると、今の自分に足りないものを見つけやすくなると思います。

また、途中で進路が変わったとしても、それまでに取り組んだ対策や経験は他の進路でも活かせることが多いと感じています。

就職活動は早期化が進んでいるため、早めに行動して、自分に合った進路を見つけてほしいと思います。